

グリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

はじめに

ごみのよりよい始末を進める市民会議は、市より委嘱を受け、平成25年6月に3条通に開設した『グリーンエコ』を拠点として、生ごみの堆肥化やごみの減量化に伴う資源ごみの分別リサイクルの啓蒙活動をしてきました。

今年の1月より『いわみざわ環境クリーンプラザ』（愛称：いわ☆ぴか）が試運転を開始しており、市では、それに伴う新たなごみの分別と収集日の変更、有料化についての説明会を開き、周知徹底を図って参りました。



いわ☆ぴか 試運転が始まりました!!

4月本格稼働に向け、1月より試運転を始めております。

新しいごみ処理施設は1日100tのごみを燃やせる焼却施設と資源再利用を推進するリサイクル施設から成っています。

これまで岩見沢市は多くの一般ごみを直接埋め立てていましたが、新施設ではごみの分け方を変えて多くの種類のごみを燃やすことにより、衛生的な処理を行い、その熱で発電をしてエネルギーのリサイクルを進めています。

リサイクル施設では燃やせないごみや大型ごみを細かく砕いた上で、さらに分別し、鉄やアルミなど資源物を回収し、燃やせる部分は焼却に回し、また資源として分別されます。びん、缶、ペットボトル、プラスチック製容器包装や紙類、危険ごみなどを分別してためておき、それぞれリサイクルされます。



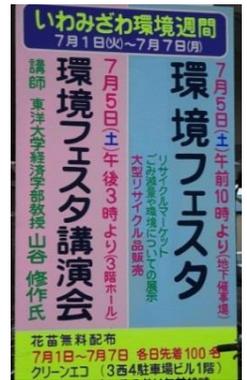
▲いわ☆ぴか全景写真



▲いわ☆ぴかへの地図

環境フェスタ 2014

当日午前 10 時より春木代表委員長のあいさつで開会し、環境美化標語大賞の日の出小 3 年生中村柚斗君の受賞スピーチ、ダイエー、イオン両社からのレジ袋無料配布に伴う収益金の寄付目録贈呈式と進み、松野市長よりご挨拶をいただき、10 時 30 分より大型リサイクル品の抽選受付が始まりました。家具展示場や自転車展示場には熱心に品定めをする市民の姿が見られ、受付係は大忙し。中古品とはいえ家具も自転車も新品同様に整備され、きれいに磨き上げています。11 時 30 分、希望の多い展示品の抽選会が始まり、当選者が決まるたびに歓声が上がりました。40 台ほどあった自転車は 12 時ごろには完売してしまいました。



▲自転車を品定めする市民



▲申し込み受付の様子



▲当選しました！

「であえーる岩見沢」の地下催事場にはいつものように、「リサイクルマーケット」「大型リサイクル品の販売」「小型家電回収コーナー」「啓発展示コーナー」が設置されました。

市民会議ではクイズラリーや花苗配布、マイバッグキャンペーンと続き、「生ごみ堆肥化講座」を午前と午後の 2 回開催し、コンポストとダンボールコンポスト・電動生ごみ処理機の使い方を、紙で作った生ごみの模型を使用してアクリル板で中を見えるように工夫したり、コンポストの使い方を紙芝居風に分かりやすく説明して、正しく理解してもらうことができました。



▲クイズラリーに挑戦！



▲コンポストの使い方教えます



▲これがダンボールコンポスト

環境フェスタ講演会の会場は 3 階の「であえーるホール」で、大勢の人たちが集まり、ごみの有料化への関心の高さがうかがえました。講師は東洋大学経済学部の山谷修作教授で、専門は環境政策、特に廃棄物行政に詳しく、環境省の委員会にも籍を置かれ、日々お忙しくご活躍されております。講演は「ごみ有料化と更なるごみ減量化に向けて」の題で、これからの私たち岩見沢市民が目指すべき「ごみ減量化・循環型社会」への取り組みの大切さを教えていただきました。

クリーンエコの活動

クリーンエコではごみ減量化に向け、生ごみの堆肥化、資源の再利用に取り組んでおります。

- 生ごみの減量化

ダンボールコンポスト・コンポスト・電動生ごみ処理機を使用し、堆肥化することをお勧めしています。

- 資源物を利用した工作

新聞紙・ダンボール・牛乳パック・ティッシュ箱などを使って色々な小物を作る講座を開いています。

また、町内会で新聞紙でバッグを作ったり、いらなくなった布でぞうりを作ったりする講座を実施し、皆様に喜ばれております。

今年の4月から有料化になりますので、一人一人がごみをきちんと分別し、決められた日に出すことが大事なことだと思います。



●講座参加者の感想

クリーンエコで行っている講習会で、新聞紙を使ったコサージュ、古布を使ったリボンの小物入れの作り方を教わり、月一回集まっているサロンの仲間で作りました。話をした時はあまり乗り気でなかったように感じましたが、新聞紙で花びらを作ったり、小物入れの生地を選んだり、出来上がってくるにしたがって真剣な顔になったり、納得した顔になったりと、楽しみながら手を進め、出来上がりに満足している様子でした。

その後、色々な好みの大きさのコサージュ、小物入れなどを作って人にあげて喜ばれているようです。なんととっても、ボンドと身近にある不要になった資源で楽しめるのが一番です。

クリーンエコに行くと今までの講座で作った作品が展示してあります。素晴らしい物ばかりですよ。



先進地視察研修

●リサイクルプラザ宮の沢

平成 26 年 10 月 28 日（火）道内先進地視察研修を実施しました。最初にリサイクルプラザ宮の沢で施設の説明を受け、館内見学をいたしました。リサイクルプラザ宮の沢は、ごみ減量と不用品の有効活用、リサイクル意識の向上を目指す活動拠点として運営されています。リサイクルプラザ宮の沢では以下の活動を行っています。

*リサイクル家具・自転車などの展示提供

市民の方が大型ごみとして出した家具・自転車などを展示し、抽選で販売。毎月 1 日～15 日に展示・申込受付、16 日に抽選販売。

*リフォーム教室

生ごみ堆肥化講習、エコバッグ・コサージュなどの作り方、古布活用など、暮らしに役立つ様々な教室を開催。

*ゆずります・ゆずってください情報コーナー

例：ゆずります…アップライトピアノ、エレクトーン等
ゆずってください…スキー板、金具、靴、ストック、座卓等

*おもちゃの病院

壊れたおもちゃを修理してできるだけ長く使用していただき、ごみを出さないようにするため簡単なおもちゃの修理、相談を受けている

*リユースコーナー

家庭からの日用品の不要品を市民から提供してもらい、欲しい物を見つけたら持ち帰ることができるコーナー など…



札幌市もいろいろ工夫していることが理解できました。岩見沢市も大変工夫されていることは言うまでもありません。しかしどんな工夫されたコーナーや教室などがあっても、市民一人一人が分別の徹底などによる減量化、資源化に取り組まなければなりません。市民の一人として再度認識を新たに、適正な分別に頑張りたいと思いました。

●(株)鈴木商会 発寒リサイクル工場

リサイクル工場に到着してリサイクルの概要などの説明を受け、その後、工場を見学しました。一つ一つ手作業で解体していたので驚きました。

使用済になった家庭のテレビは、家電小売店を通して家電メーカーの指定引き取り場所に集められ、再商品化施設である発寒リサイクル工場に運ばれてきます。

テレビは家電製品の中でも特に複雑で、たくさんの種類の素材からできていますので、工場では一つ一つを手作業で部品を取り外し分別しておりました。また、ここでは年間 127 万台のテレビ、271 万台のエアコンを主に処理しており、32 名の職員で構成されているとのことでした。

過去には燃やしたり、埋められたりということもあった廃棄物も、その中には鉄やアルミニウム・ガラス・プラスチックといった日常的なものから金や銀・レアメタルと呼ばれる希少価値の高い資源まで含まれていますので、それらを再利用して天然資源から採取する量を抑え、資源の枯渇を防ぐことにより環境を保全していくことが求められるのではないのでしょうか。



初めてリサイクル工場を見学して、リサイクルを行うための行程の多さに驚きました。私も電気の仕事をしていたのですが、今の電気機器は「多機能化」「自動化」して、部品の数も多く、複雑化しています。これが工程の多さの一因ではないかと思い、もっと簡素化すればリサイクルもやりやすいのではないかと考えました。

今回研修してきたことを地域の皆さんに広め、ごみの分別を面倒がらずごみ出しのルールを守っていただき、4月からの有料化に伴い、分別を確実なものに進めていきたいと考えております。

その他の活動

当市民会議のメンバーは、岩見沢市が行う環境に関するいろいろな諸行事に参加して活躍しています。

- ①じん芥処理センターごみ拾い
- ②利根別川クリーン・グリーン作戦 2014
- ③ごみステーションでの「ごみ分別区分」の変更の啓発活動など



▲クリーングリーン作戦 2014

ごみステーションでの啓発は、市職員や町内会の役員の皆様と協働で行い、燃やせないごみの日に数十人の方に出会うことができました。

また、「クリーンエコ」で販売している、ダンボールコンポストの「基材」作りで、真っ黒になりながら働いています。



▲材料の一つ「ピートモス」



▲バケツで4ℓ計ります



▲真っ黒になる原因
「もみ殻くん炭」

ダンボールコンポストをお安く提供しています!

市民会議では、ダンボールコンポストの基材としてピートモス6：もみ殻くん炭4の割合で混ぜたものを1回分の使用量に分け、使いやすいように作成しています。基材とダンボールをそれぞれ200円で以下の場所で販売しています。詳しい使い方はクリーンエコにご相談ください。

- クリーンエコ
- 市役所2階 廃棄物対策課
- 北村・栗沢各支所
- 幌向・朝日各サービスセンター



ごみの分け方再確認！

今年の1月から燃やせるごみと燃やせないごみの分け方が変わりましたが、もう慣れましたか？
ここで今の燃やせるごみ・燃やせないごみについておさらいしてみましょう。

●燃やせるごみ

生ごみ・台所ごみ



紙おむつ・ペットシート



紙くず

(リサイクルできない汚れたもの)



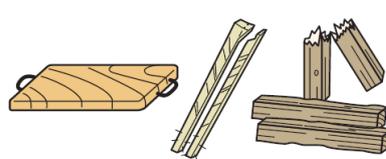
衣類・布類



枝木・草・葉



木くず・木製品



プラスチック製品



※ マークがないもの

皮革・ゴム・ビニール製品



そのほか、

- ・吸い殻
 - ・花火
 - ・マッチ
 - ・使い捨てカイロ
 - ・保冷剤
- など

クリーンエコなどの拠点回収に持って行くと有料化後も無料です！

●燃やせないごみ

金属類



陶磁器・ガラス類



電化製品



※その他のごみの出し方は変わっていません！

4月から

ごみの有料化が始まります！

燃やせるごみ



有料

指定ごみ袋
(ピンク色)

指定ごみ袋に入らない枝木類は枝木類処理券を貼って出すこともできます。

燃やせないごみ



有料

指定ごみ袋
(緑色)

大型ごみ



有料

大型ごみ処理券

資源ごみ



無料

(半)透明袋

推奨袋が余っていれば使うこともできます

岩見沢市指定ごみ袋

！平成27年4月1日以降は、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」は、**有料の指定ごみ袋**で出すことになります。

●指定ごみ袋以外の袋や容器で出されたごみは、**収集しません。**



推奨袋や(半)透明の袋



中身の見えない袋



ダンボール



袋に入れない

種類	燃やせるごみ 燃やせないごみ の2種類				
	燃やせるごみ 指定袋(ピンク色)		燃やせないごみ 指定袋(緑色)		
容量	5リットル	10リットル	20リットル	30リットル	40リットル
販売価格	100円 (10枚1組)	200円 (10枚1組)	400円 (10枚1組)	300円 (5枚1組)	400円 (5枚1組)

・1リットルあたり2円で、組単位で販売します。販売価格は全取扱店で一律です。
・払い戻しは**できません**のでご注意ください。

岩見沢市指定ごみ処理券(シール)

！平成27年4月1日以降、
・「大型ごみ」を出す場合
・「燃やせるごみ」の40リットル指定ごみ袋に入らない「枝木」
有料のごみ処理券を貼って出すことになります。

種類	大型ごみ処理券	枝木類処理券
販売価格	1枚 300円	1枚 80円

指定ごみ袋・ごみ処理券の取扱(販売)店

岩見沢市内のスーパー、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンターなどで、**平成27年3月から**販売します。

取扱店一覧は広報3月号に折り込みで入っています。



このステッカーが目印！

クリーンエコのご紹介

3 ページですでにクリーンエコについては触れましたが、あらためて活動内容をご紹介します。

- 電動生ごみ処理機やコンポストの助成申請の受付をしています。
- ごみ分別や生ごみ堆肥化の相談をお受けします。
- 16種類の資源物を受け入れています。

小型家電	蛍光管
乾電池	古布（綿50%以上のもの）
割りばし（軽く洗って） ※木製のみ	紙パック（洗って切り開いて）
びん類（無色、茶色、その他の色。軽く洗って）	缶類（アルミ・スチール缶。軽く洗って）
ペットボトル（軽く洗って）	廃食用油（500ml ペットボトルに入れて）
古紙類	生ごみ堆肥
生ごみ	

- 講座は毎月1回行っています。過去には
 - ・新聞紙で作るマイバッグ
 - ・新聞紙で作るコサージュ
 - ・紙パックで作るプリンター
 - ・紙パックで作るフォトスタンド
 などを扱い、好評を得ています。



▲ 市民会議の様子



▼ 講座の様子



ごみ・環境総合案内所 クリーンエコ

所在地 岩見沢市3条西4丁目

であえーる駐車場ビル1階（3条中郵便局隣）

開所日 火曜日から日曜日（休日：月曜・祝日・年末年始）

開所時間 午前10時～午後5時

電話番号 0126-31-1153

編集後記



今回も「クリーンエコシティ岩見沢」第3号を発行することができました。ページが8ページに増え、出来栄は良いと思います。発行にご協力いただいた方々に感謝いたします。

ごみのよりよい始末を進める市民会議

事務局：市役所廃棄物対策課 ☎23-4111(内線 213)